



平成22年3月期 決算短信

平成22年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ケーユーホールディングス
コード番号 9856 URL <http://www.ku-hd.com>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 井上 恵博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長 (氏名) 堀内 伸泰

定時株主総会開催予定日 平成22年6月28日 配当支払開始予定日

有価証券報告書提出予定日 平成22年6月28日

TEL 042-796-3133
平成22年6月29日

(百万円未満切捨て)

1. 22年3月期の連結業績(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期	37,108	△11.1	1,339	△1.7	1,452	△3.2	3,687	666.1
21年3月期	41,758	△14.7	1,363	△28.6	1,500	△25.3	481	△38.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
22年3月期	215.50	213.96	16.3	5.0	3.6
21年3月期	26.86	26.76	2.3	5.3	3.3

(参考) 持分法投資損益 22年3月期 一百万円 21年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期	29,159	24,388	83.4	1,441.75
21年3月期	28,455	20,896	73.2	1,214.76

(参考) 自己資本 22年3月期 24,320百万円 21年3月期 20,838百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
22年3月期	1,150	△1,277	△308	4,586
21年3月期	2,679	△1,809	△342	5,021

2. 配当の状況

	1株当たり配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00	176	37.2	0.8
22年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00	170	4.6	0.8
23年3月期 (予想)	—	5.00	—	5.00	10.00		30.7	

3. 23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	20,000	11.8	700	5.0	750	1.5	90	△77.6	5.33
通期	40,000	7.8	1,400	4.5	1,500	3.3	550	△85.1	32.60

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期 23,063,012株 21年3月期 23,063,012株
 ② 期末自己株式数 22年3月期 6,194,100株 21年3月期 5,908,316株

(参考)個別業績の概要

1. 22年3月期の個別業績(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期	1,516	37.5	669	116.1	730	83.3	3,419	—
21年3月期	1,102	△90.7	309	△38.1	398	△43.8	△48	△174.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期	199.79	198.36
21年3月期	△2.72	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期	22,266	20,064	89.8	1,185.46
21年3月期	21,991	16,851	76.4	978.94

(参考) 自己資本 22年3月期 19,997百万円 21年3月期 16,793百万円

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

①当期の概況

(百万円未満切捨表示)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
平成22年3月期	37,108	1,339	1,452	3,687	円 215 銭 50
平成21年3月期	41,758	1,363	1,500	481	26 86
伸長率	△11.1%	△1.7%	△3.2%	666.1%	702.4%

当連結会計年度におけるわが国の経済は、堅調なアジア市場と緊急経済対策の効果などを背景に、下げ止まりの動きが見られるようになりました。企業収益が改善、設備投資は下げ止まりつつあります。しかし、失業率が高水準で推移するなど、雇用情勢は依然として厳しく個人消費に改善の兆しは見られません。

自動車販売業界におきましては、低燃費車を対象としたエコカー減税や新車購入補助金など政府の支援策等で国内の自動車販売は昨夏に前年比プラスとなり、新車の総販売台数は488万台（対前年度比3.8%増加）と4年ぶりの前年度比プラスに転じましたが、金融危機前の同21年度（531万台）には届きませんでした。一方、外国メーカー車の新車販売台数は、166千台（同5.7%減少）となり、依然として厳しい状況が続いております。

中古車マーケットにつきましては、中古車登録台数は394万台（同7.5%減少）と4年連続で前年度を下回る結果となり、こちらも厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループの経営成績は以下のとおりとなりました。

売上高は、前期に比べ4,650百万円減少の37,108百万円（同11.1%減少）となりました。カテゴリ別では、国産車は、前期に比べ590百万円減少の14,119百万円（同4.0%減少）となりました。また、輸入車は、前期に比べ3,630百万円減少の15,465百万円（同19.0%減少）となり、国産車に比べ厳しい結果となりました。

アフターセールス部門におきましても前期に比べ224百万円減少の4,659百万円（同4.6%減少）となりました。また、手数料収入は、販売台数の減少に伴い、前期に比べ168百万円減少の2,421百万円（同6.5%減少）となりました。

売上原価は、仕入調達力の強化や利益重視の販売活動により、前期に比べ4,041百万円減少の29,696百万円（同12.0%減少）となりました。その結果売上原価率は80.0%と前期に比べ0.8%改善いたしました。

販売費及び一般管理費は、広告宣伝費、人件費等経費削減を進め、前期に比べ585百万円減少の6,071百万円（同8.8%減少）となりましたが、経費率は16.4%と前期と比べて0.5%増加いたしました。

営業利益は、前期に比べ23百万円減少の1,339百万円（同1.7%減少）となり、営業利益率は、前期に比べ0.3%プラスの3.6%となりました。

営業外損益は、純収益が前期に比べ25百万円減少の112百万円となり、経常利益は、前期に比べ48百万円減少の1,452百万円（同3.2%減少）となりました。

特別損益は、本店敷地の一部他の収用による補償金を計上する等により純損益が4,857百万円となり、税金等調整前当期純利益は、前期に比べ5,269百万円増加の6,309百万円（同506.5%増加）となりました。

その結果、当期純利益は、前期に比べ3,206百万円増加の3,687百万円（同666.1%増加）となりました。

②販売実績

(百万円未満切捨表示)

品目	平成21年3月期			平成22年3月期			対前年度比較増減	
	台数 (台)	金額	構成比 (%)	台数 (台)	金額	構成比 (%)	台数 (台)	金額
四輪車								
国産新車	1,880	3,235	7.7	1,871	3,551	9.6	△9	316
輸入新車	1,755	9,881	23.7	1,396	7,826	21.1	△359	△2,055
新車計	3,635	13,116	31.4	3,267	11,378	30.7	△368	△1,738
国産中古車	14,814	11,474	27.5	13,995	10,568	28.4	△819	△906
輸入中古車	4,127	9,214	22.1	3,469	7,638	20.6	△658	△1,575
中古車計	18,941	20,689	49.6	17,464	18,207	49.0	△1,477	△2,482
四輪車計	22,576	33,805	81.0	20,731	29,585	79.7	△1,845	△4,220
二輪車								
新車	205	305	0.7	117	215	0.6	△88	△89
中古車	302	173	0.4	232	227	0.6	△70	53
二輪車計	507	478	1.1	349	442	1.2	△158	△36
商品売上高合計	—	34,284	82.1	—	30,027	80.9	—	△4,257
修理売上高	—	4,884	11.7	—	4,659	12.6	—	△224
手数料収入	—	2,589	6.2	—	2,421	6.5	—	△168
合計	—	41,758	100.0	—	37,108	100.0	—	△4,650

(注) 1. 修理売上高、手数料収入については、販売品目が多岐にわたるため金額のみの記載としております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③次期見通し

国内自動車マーケットは、新車総販売台数が4年ぶりに増加に転じたものの、ピークの平成2年度に比べると6割強に止まるなど、本格回復にはほど遠い状態です。当社グループといたしましては、縮小するマーケットでも安定的に利益を計上できる企業体質の構築に努めるとともに、既存ブランドについては新規の出店や店舗のリニューアルにより集客力を高めるとともに、新規ブランドの拡充を通じ販売力の増強に注力し、出店エリアの拡大や旗艦店であるケーユー本店の新規オープンを梃子にした販促活動の強化により、収益の確保を図ってまいります。

次期の業績見通しにつきましては、売上高40,000百万円(前期比7.8%増加)、営業利益1,400百万円(同4.5%増加)、経常利益1,500百万円(同3.3%増加)、当期純利益につきましては、550百万円(同85.1%減少)を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

総資産は、29,159百万円（前年同期比704百万円増加）となりました。これは主に有形固定資産が1,378百万円、商品及び製品が627百万円増加しましたが、繰延税金資産が655百万円、現金及び預金が335百万円減少したことによるものであります。

負債は、4,771百万円（同2,787百万円減少）となりました。これは主に繰延税金負債が1,376百万円、支払手形及び買掛金が424百万円増加しましたが、圧縮未決算特別勘定が3,789百万円、未払金及び未払費用が624百万円減少したことによるものであります。

純資産は、24,388百万円（同3,491百万円増加）となりました。これは主に利益剰余金が3,516百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物残高（以下「資金」という。）は、4,586百万円になりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因はつぎのとおりであります。

a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果獲得した資金は、1,150百万円（前期比1,529百万円減少）となりました。

これは主に、収用補償金の減少額5,414百万円（前期は実績なし）、たな卸資産の増加額892百万円（前期は2,067百万円の減少）、法人税等の支払額495百万円（前期比307百万円減少）等の減少要因はありましたが、仕入債務の増加額424百万円（前期は658百万円の減少）、減価償却費770百万円（同92百万円増加）及び税金等調整前当期純利益6,309百万円（同5,269百万円増加）の増加要因によるものであります。

b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果支出した資金は、1,277百万円（前期比532百万円減少）となりました。

これは主に、収用に伴う補償金の収入1,624百万円（前期比1,571百万円増加）による増加要因がありましたが、有形固定資産の取得による支出2,960百万円（同1,000百万円増加）等の減少要因によるものであります。

c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、308百万円（前年同期比34百万円減少）となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出50百万円（前年同期比13百万円増加）、配当金の支払額171百万円（同55百万円減少）、自己株式の取得による支出86百万円（同110百万円減少）等の減少要因によるものであります。

キャッシュ・フロー指標のトレンド

	平成18年3月期	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期
自己資本比率（%）	68.3	73.5	73.0	73.2	83.4
時価ベースの自己資本比率（%）	34.1	52.6	29.7	13.2	21.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	0.5	—	—	0.1	0.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	276.9	709.6	233.3	584.5	491.3

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

（注3）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

（注4）有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期、次期の配当

当社は、安定的かつ継続的な配当を基本に、財務体質の強化並びに今後の成長戦略等を総合的に勘案して、株主の皆様への期待に応えていきたいと考えております。内部留保につきましては、新規出店やM&A等、将来の企業価値を高めるための投資に充ちたいします。

この方針のもと当期における期末配当金は、1株当たり5円00銭(年間1株当たり10円)とさせていただきます、次期の配当につきましても1株当たり年間10円を予定しております。

また、株主への利益還元策の一環として、自己株式の購入も機動的に実施してまいります。

(4) 事業等のリスク

企業が事業を遂行している限り、様々なリスクをとまいますが、当社グループにおいては、リスクの発生を防止、分散、あるいはヘッジすることによりリスクの軽減に努めております。しかしながら、予想を超える事態が生じた場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。なお、以下の記述のうち将来に関する部分は、現時点において当社が判断したものであります。

①販売店契約について

当社グループは、自動車メーカー各社と販売店契約を締結して正規ディーラーとして業務を行っておりますが、何らかの事由により販売店契約等が継続できなくなった場合には、正規ディーラーとしての業務の取扱いができなくなり、業績に影響を及ぼす可能性があります。

当社グループは、自動車メーカー各社と良好な関係を築いておりますが、店舗投資等を通じて拡販に注力し、今後も良好な関係を維持、継続してまいります。

②店舗について

当社グループは、本店所在地の東京都町田市を中心に南関東地区に集中して店舗を有しております。今後、首都圏直下型の大規模地震等が発生した場合には、在庫商品や日常の営業活動に支障をきたし、業績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

当社グループでは、北関東地域へ出店地域を拡大することで、リスク分散をはかっております。

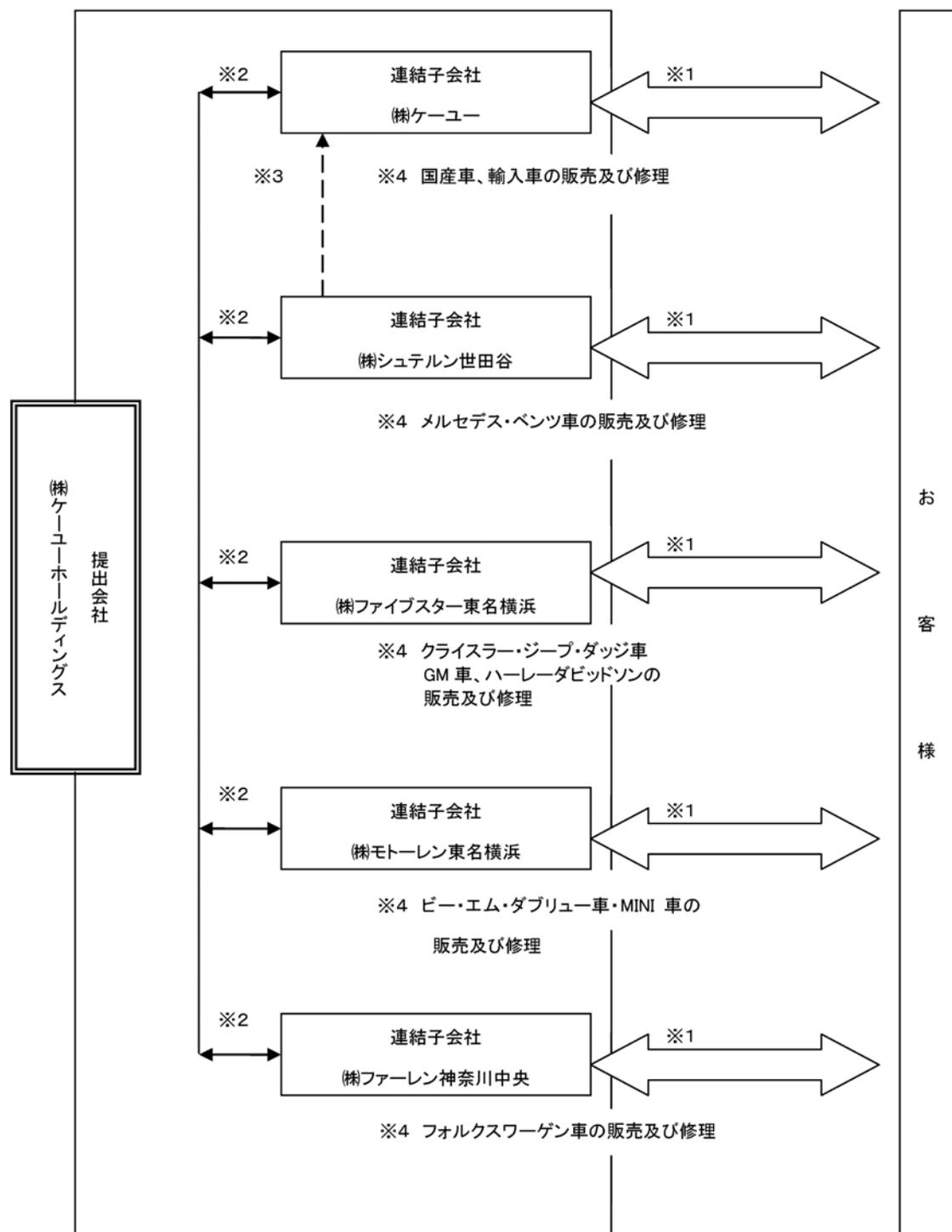
また、国道16号線の拡幅工事に伴ない、工事期間中及び完成後の交通事情変化による来客の変動が起きた場合には、株式会社ケーユー本店の業績に影響を及ぼす可能性があります。

③マーケットの環境について

自動車販売業界におきましては、若年齢層の減少及び自動車に対する嗜好の変化等構造的な要因に加え、景気低迷による個人消費の落込み等の影響により、マーケットは大きく縮小しております。今後消費税率の引上げが実施された場合には更に需要が減少する可能性があります。また、新車販売の落込みが、今後良質な中古車の供給不足をもたらす可能性があります。このようなマーケット環境の変化が、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

当社グループといたしましては、販売力や企業体質を一層強化することにより、需要が伸びない環境下でも安定的に収益を確保できる企業体質の構築に努めてまいります。

2. 企業集団の状況



※1. お客様に対し、自動車の販売及び修理を行っております。また、お客様より中古車の仕入れを行っております。

※2. 上記により仕入れた中古車についてお客様に販売可能な商品は、主要な事業の該当する会社に販売しております。また、自動車の修理は、適したサービス工場を有する会社に外注委託をしております。

※3. 一部の販売店舗を賃貸しております。

※4. 主要な事業を示しております。

注1) 提出会社が連結子会社に対し一部の販売店舗を賃貸しております。また、経営指導及び一部の業務を受託しております。

注2) 株式会社ファーレン神奈川中央は、平成21年12月2日をもって事業を開始しております。

3. 経営方針

(1) 経営の基本方針

当社グループは、「高品質な商品・サービスの提供によりお客様の豊かなカーライフの実現に貢献する」「法令・社会規範を遵守した公正かつ透明な取引と誠実な行動に努める」「社会活動への参加を通じて地域社会貢献に努め企業の社会的責任を果たす」といった経営理念に基づき、「中古車事業」から世界のトップブランドである「メルセデス・ベンツ事業」「BMW事業」に至るまで、幅広い範囲の「自動車販売」をコアビジネスとして事業活動を行ってまいりました。

今後も、コアビジネスにおける事業ポートフォリオの増強等を通じて、シンプルな自動車販売業を基本とした事業運営を行っていくことにより、グループの成長を図ってまいります。

(2) 目標とする経営指標

当社グループは、近年積極的な投資を行ってまいりましたが、ROA（総資産当期純利益率）を最重要視した経営を行うことで、企業規模のみの追求ではなく、売上高利益率の向上と総資産の効率的な活用を意識した事業運営を志向し、筋肉質の企業集団を形成すべく努めてまいります。

(3) 会社の対処すべき課題及び中長期的な経営戦略

政府の緊急経済対策もあり、個人消費には持ち直しの兆しがあります。しかし、底を打ったと思われる自動車販売も、新車購入補助金が終了する年度後半には反動減が懸念されるなど、国内の自動車販売業界は、依然としてかつてない厳しい状況に直面しております。

この様な状況下、当社といたしましては、引続き、組織のスリム化と業務の効率化により生産性の向上を図るとともに、経費のコントロールを一層強め、総需要が減少する経営環境においても十分な利益を確保できる企業体質の構築に努めてまいります。

中古車事業の旗艦店の販売力強化と店舗展開地域拡大により、集客力を大幅にアップして、売り上げ増に結び付けてまいります。

業績の拡大のみならず事業ポートフォリオの増強を図るほか、純粋持株会社の特徴と当社の財務面での強みを活かしたM&Aの積極的な展開等を通じ、グループの成長を図ってまいります。

4. 連結財務諸表
 (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成21年3月31日)	当連結会計年度 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,121	4,785
受取手形及び売掛金	780	799
有価証券	110	10
商品及び製品	3,861	4,489
仕掛品	38	41
原材料及び貯蔵品	155	146
前払費用	148	126
繰延税金資産	193	194
その他	869	739
貸倒引当金	△6	△2
流動資産合計	11,272	11,330
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,675	8,623
減価償却累計額	△2,359	△2,592
建物及び構築物（純額）	4,315	6,030
機械装置及び運搬具	970	1,147
減価償却累計額	△373	△437
機械装置及び運搬具（純額）	596	710
工具、器具及び備品	407	422
減価償却累計額	△318	△334
工具、器具及び備品（純額）	89	87
土地	9,103	9,069
建設仮勘定	421	7
有形固定資産合計	14,527	15,905
無形固定資産	84	65
投資その他の資産		
投資有価証券	719	764
繰延税金資産	726	70
その他	1,126	1,033
貸倒引当金	△1	△10
投資その他の資産合計	2,571	1,857
固定資産合計	17,183	17,828
資産合計	28,455	29,159

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成21年3月31日)	当連結会計年度 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	970	1,394
1年内返済予定の長期借入金	47	47
未払金及び未払費用	1,035	411
未払法人税等	261	273
賞与引当金	200	160
圧縮未決算特別勘定	3,789	—
その他	659	571
流動負債合計	6,965	2,859
固定負債		
長期借入金	164	116
繰延税金負債	1	1,377
その他	427	416
固定負債合計	593	1,911
負債合計	7,558	4,771
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,321	6,321
資本剰余金	6,439	6,439
利益剰余金	12,912	16,428
自己株式	△4,855	△4,942
株主資本合計	20,817	24,247
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	21	73
評価・換算差額等合計	21	73
新株予約権	58	67
純資産合計	20,896	24,388
負債純資産合計	28,455	29,159

（2）連結損益計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日）	当連結会計年度 （自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）
売上高	41,758	37,108
売上原価	33,738	29,696
売上総利益	8,020	7,411
販売費及び一般管理費	6,656	6,071
営業利益	1,363	1,339
営業外収益		
受取利息	21	15
受取配当金	14	14
受取地代家賃	72	64
受取保険金	28	13
その他	64	64
営業外収益合計	202	173
営業外費用		
支払利息	6	5
減価償却費	13	11
賃貸費用	33	27
訴訟関連費用	—	10
その他	11	5
営業外費用合計	64	60
経常利益	1,500	1,452
特別利益		
投資有価証券売却益	5	—
収用補償金	—	5,414
固定資産売却益	1	0
事業譲渡益	100	—
その他	0	31
特別利益合計	107	5,445
特別損失		
投資有価証券評価損	147	28
投資有価証券売却損	0	—
固定資産売却損	—	492
固定資産除却損	280	66
減損損失	139	—
特別損失合計	567	588
税金等調整前当期純利益	1,040	6,309
法人税、住民税及び事業税	531	611
法人税等調整額	27	2,010
法人税等合計	558	2,621
当期純利益	481	3,687

（3）連結株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日）	当連結会計年度 （自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）
株主資本		
資本金		
前期末残高	6,321	6,321
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	6,321	6,321
資本剰余金		
前期末残高	6,439	6,439
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	6,439	6,439
利益剰余金		
前期末残高	12,657	12,912
当期変動額		
剰余金の配当	△226	△171
当期純利益	481	3,687
当期変動額合計	254	3,516
当期末残高	12,912	16,428
自己株式		
前期末残高	△4,657	△4,855
当期変動額		
自己株式の取得	△197	△86
当期変動額合計	△197	△86
当期末残高	△4,855	△4,942
株主資本合計		
前期末残高	20,760	20,817
当期変動額		
剰余金の配当	△226	△171
当期純利益	481	3,687
自己株式の取得	△197	△86
当期変動額合計	56	3,429
当期末残高	20,817	24,247

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日）	当連結会計年度 （自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	165	21
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△144	52
当期変動額合計	△144	52
当期末残高	21	73
評価・換算差額等合計		
前期末残高	165	21
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△144	52
当期変動額合計	△144	52
当期末残高	21	73
新株予約権		
前期末残高	44	58
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	13	9
当期変動額合計	13	9
当期末残高	58	67
純資産合計		
前期末残高	20,970	20,896
当期変動額		
剰余金の配当	△226	△171
当期純利益	481	3,687
自己株式の取得	△197	△86
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△130	61
当期変動額合計	△73	3,491
当期末残高	20,896	24,388

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日）	当連結会計年度 （自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,040	6,309
減価償却費	678	770
受取利息及び受取配当金	△36	△30
支払利息	6	5
減損損失	139	—
事業譲渡損益（△は益）	△100	—
固定資産除売却損益（△は益）	279	558
投資有価証券売却損益（△は益）	△5	—
投資有価証券評価損益（△は益）	147	28
売上債権の増減額（△は増加）	295	△23
たな卸資産の増減額（△は増加）	2,067	△892
仕入債務の増減額（△は減少）	△658	424
収用補償金	—	△5,414
その他	△400	△115
小計	3,453	1,622
利息及び配当金の受取額	33	25
利息の支払額	△4	△2
法人税等の支払額	△802	△495
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,679	1,150
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10	△21
定期預金の払戻による収入	10	21
有形固定資産の取得による支出	△1,960	△2,960
有形固定資産の売却による収入	1	0
無形固定資産の取得による支出	△36	△2
投資有価証券の取得による支出	△100	—
投資有価証券の売却による収入	30	—
事業譲渡による収入	112	—
敷金及び保証金の差入による支出	△103	△70
収用に伴う補償金の収入	53	1,624
その他の支出	△39	△26
その他の収入	231	158
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,809	△1,277
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△226	△171
長期借入れによる収入	119	—
長期借入金の返済による支出	△37	△50
自己株式の取得による支出	△197	△86
財務活動によるキャッシュ・フロー	△342	△308
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	527	△435
現金及び現金同等物の期首残高	4,494	5,021
現金及び現金同等物の期末残高	5,021	4,586

継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

最近の有価証券報告書(平成21年6月24日提出)における記載から重要な変更がないため開示を省略しております。

注記事項

（セグメント情報）

a. 事業の種類別セグメント情報

前連結会計年度及び当連結会計年度において、当社グループは、自動車関連事業を1セグメントとしており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

b. 所在地別セグメント情報

前連結会計年度及び当連結会計年度において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため該当事項はありません。

c. 海外売上高

前連結会計年度及び当連結会計年度において、海外売上高がないため該当事項はありません。

（1株当たり情報）

前連結会計年度 （自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日）		当連結会計年度 （自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）	
1株当たり純資産額	1,214円76銭	1株当たり純資産額	1,441円75銭
1株当たり当期純利益金額	26円86銭	1株当たり当期純利益金額	215円50銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	26円76銭	潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	213円96銭

（注） 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日）	当連結会計年度 （自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益（百万円）	481	3,687
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る当期純利益（百万円）	481	3,687
期中平均株式数（株）	17,924,884	17,133,493
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
普通株式増加数（株）	61,308	122,720
（新株予約権）	(61,308)	(122,720)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	平成14年新株予約権（新株予約権の数620個） 平成16年新株予約権（新株予約権の数4,510個） 平成18年新株予約権（新株予約権の数1,760個）	平成14年新株予約権（新株予約権の数620個） 平成16年新株予約権（新株予約権の数4,510個） 平成18年新株予約権（新株予約権の数1,720個）

（重要な後発事象）

<p>前連結会計年度 （自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日）</p>	<p>当連結会計年度 （自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）</p>
<p>当社は、平成21年5月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議いたしました。</p> <p>1. 自己株式取得に関する取締役会の決議内容</p> <p>(1) 取得する株式の種類 当社普通株式</p> <p>(2) 取得する株式の総数 1,000,000株（上限）</p> <p>(3) 取得する期間 平成21年5月15日から平成21年9月18日</p> <p>(4) 取得価額の総額 300百万円（上限）</p>	<p>当社は、平成22年5月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議いたしました。</p> <p>1. 自己株式取得に関する取締役会の決議内容</p> <p>(1) 取得する株式の種類 当社普通株式</p> <p>(2) 取得する株式の総数 1,000,000株（上限）</p> <p>(3) 取得する期間 平成22年5月14日から平成22年9月17日</p> <p>(4) 取得価額の総額 350百万円（上限）</p>

5. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成21年3月31日)	当事業年度 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,078	930
有価証券	110	10
前払費用	23	21
繰延税金資産	40	13
関係会社短期貸付金	2,270	2,451
未収収益	257	309
その他	360	97
流動資産合計	4,140	3,833
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,688	5,196
減価償却累計額	△763	△976
建物（純額）	2,925	4,219
構築物	539	503
減価償却累計額	△317	△254
構築物（純額）	221	249
機械及び装置	25	25
減価償却累計額	△23	△23
機械及び装置（純額）	1	1
工具、器具及び備品	106	105
減価償却累計額	△73	△84
工具、器具及び備品（純額）	32	20
土地	8,388	8,054
建設仮勘定	67	—
有形固定資産合計	11,637	12,544
無形固定資産		
電話加入権	15	15
ソフトウェア	11	6
無形固定資産合計	26	21
投資その他の資産		
投資有価証券	665	694
関係会社株式	4,650	4,873
出資金	0	0
長期前払費用	103	80
繰延税金資産	542	—
敷金及び保証金	214	205
保険積立金	10	11
その他	—	4
貸倒引当金	—	△4
投資その他の資産合計	6,187	5,866
固定資産合計	17,851	18,432
資産合計	21,991	22,266

（単位：百万円）

	前事業年度 (平成21年3月31日)	当事業年度 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	5	5
未払金	807	14
未払費用	233	277
未払法人税等	22	55
預り金	44	27
前受収益	13	13
賞与引当金	5	4
圧縮未決算特別勘定	3,496	—
流動負債合計	4,629	397
固定負債		
受入保証金	12	12
長期借入金	119	113
長期未払金	352	352
繰延税金負債	—	1,300
その他	26	25
固定負債合計	510	1,803
負債合計	5,139	2,201
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,321	6,321
資本剰余金		
資本準備金	6,439	6,439
資本剰余金合計	6,439	6,439
利益剰余金		
利益準備金	193	193
その他利益剰余金		
配当平均積立金	2	2
固定資産圧縮積立金	4	2,221
別途積立金	38	38
繰越利益剰余金	8,635	9,665
利益剰余金合計	8,874	12,121
自己株式	△4,855	△4,942
株主資本合計	16,779	19,940
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13	56
評価・換算差額等合計	13	56
新株予約権	58	67
純資産合計	16,851	20,064
負債純資産合計	21,991	22,266

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	当事業年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)
営業収益		
子会社経営指導料	214	190
子会社業務受託手数料	99	100
子会社貸貸収入	508	620
子会社受取配当金	280	604
営業収益合計	1,102	1,516
営業費用		
役員報酬	148	130
給与及び手当	84	56
減価償却費	176	288
賃借料	115	133
租税公課	79	81
支払手数料	54	52
その他	134	103
営業費用合計	792	847
営業利益	309	669
営業外収益		
受取利息	36	24
受取配当金	12	13
受取地代家賃	34	34
受取保険金	17	2
雑収入	6	9
営業外収益合計	108	83
営業外費用		
支払利息	3	2
減価償却費	10	9
貸貸費用	5	5
訴訟関連費用	—	4
雑損失	0	—
営業外費用合計	19	22
経常利益	398	730

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	当事業年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)
特別利益		
投資有価証券売却益	5	—
新株予約権戻入益	0	0
収用補償金	—	5,023
特別利益合計	6	5,023
特別損失		
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券評価損	140	28
固定資産売却損	—	334
固定資産除却損	213	21
減損損失	19	—
特別損失合計	373	384
税引前当期純利益	30	5,369
法人税、住民税及び事業税	△7	96
法人税等調整額	86	1,854
法人税等合計	79	1,950
当期純利益又は当期純損失(△)	△48	3,419

（3）株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

	前事業年度 （自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日）	当事業年度 （自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）
株主資本		
資本金		
前期末残高	6,321	6,321
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	6,321	6,321
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高	6,439	6,439
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	6,439	6,439
資本剰余金合計		
前期末残高	6,439	6,439
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	6,439	6,439
利益剰余金		
利益準備金		
前期末残高	193	193
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	193	193
その他利益剰余金		
配当平均積立金		
前期末残高	2	2
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	2	2
固定資産圧縮積立金		
前期末残高	4	4
当期変動額		
当期変動額合計	—	2,217
当期末残高	4	2,221

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	当事業年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)
別途積立金		
前期末残高	38	38
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	38	38
繰越利益剰余金		
前期末残高	8,911	8,635
当期変動額		
剰余金の配当	△226	△171
当期純利益又は当期純損失(△)	△48	3,419
固定資産圧縮積立金の積立	—	△2,217
当期変動額合計	△275	1,030
当期末残高	8,635	9,665
利益剰余金合計		
前期末残高	9,149	8,874
当期変動額		
剰余金の配当	△226	△171
当期純利益又は当期純損失(△)	△48	3,419
当期変動額合計	△275	3,247
当期末残高	8,874	12,121
自己株式		
前期末残高	△4,657	△4,855
当期変動額		
自己株式の取得	△197	△86
当期変動額合計	△197	△86
当期末残高	△4,855	△4,942
株主資本合計		
前期末残高	17,253	16,779
当期変動額		
剰余金の配当	△226	△171
当期純利益又は当期純損失(△)	△48	3,419
自己株式の取得	△197	△86
当期変動額合計	△473	3,160
当期末残高	16,779	19,940

（単位：百万円）

	前事業年度 （自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日）	当事業年度 （自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	155	13
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△142	43
当期変動額合計	△142	43
当期末残高	13	56
評価・換算差額等合計		
前期末残高	155	13
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△142	43
当期変動額合計	△142	43
当期末残高	13	56
新株予約権		
前期末残高	44	58
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	13	9
当期変動額合計	13	9
当期末残高	58	67
純資産合計		
前期末残高	17,453	16,851
当期変動額		
剰余金の配当	△226	△171
当期純利益又は当期純損失（△）	△48	3,419
自己株式の取得	△197	△86
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△128	52
当期変動額合計	△601	3,214
当期末残高	16,851	20,064

継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。